

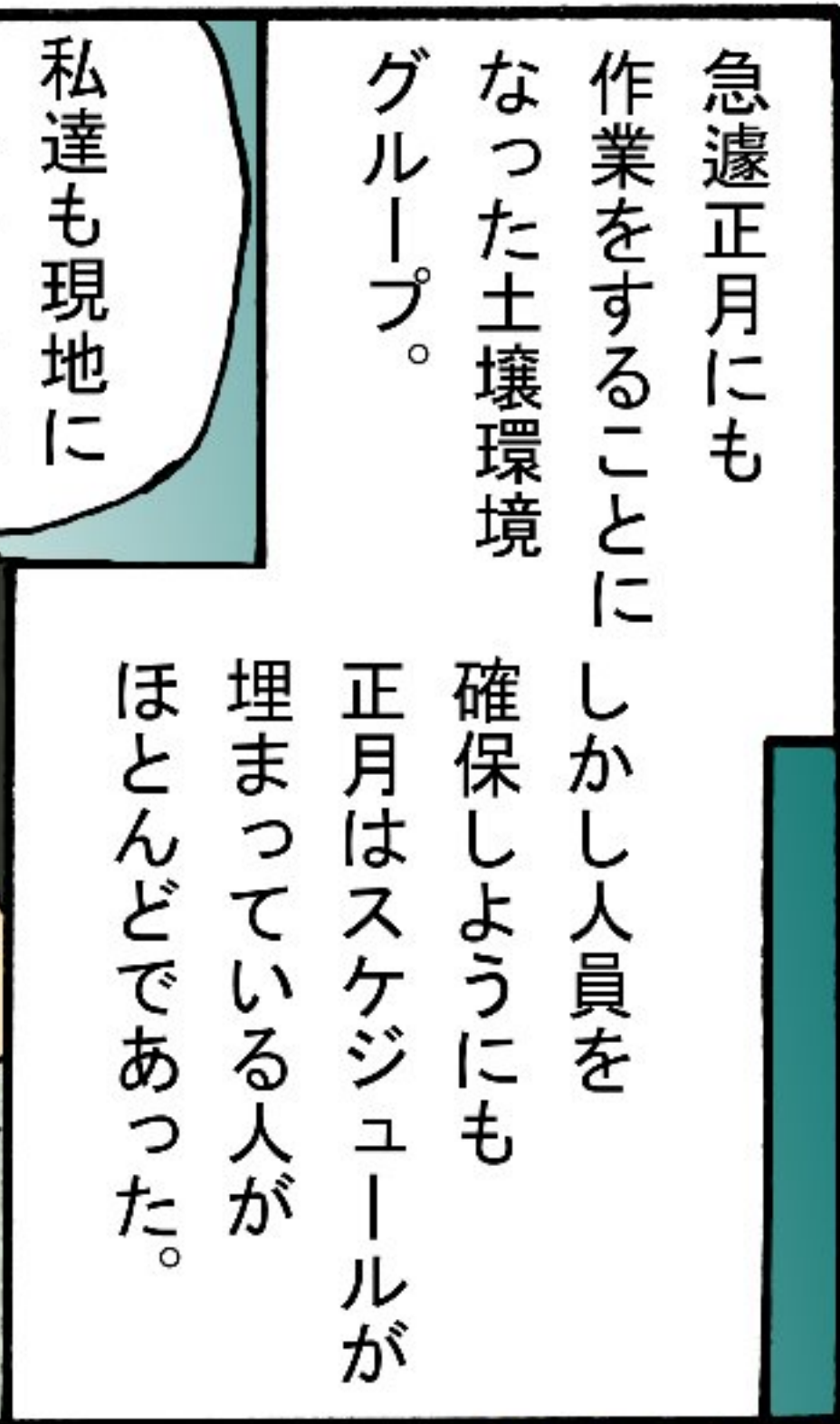
しかし、現地で準備をしていた12月23日…。







で、  
できる限りの  
ことはします！



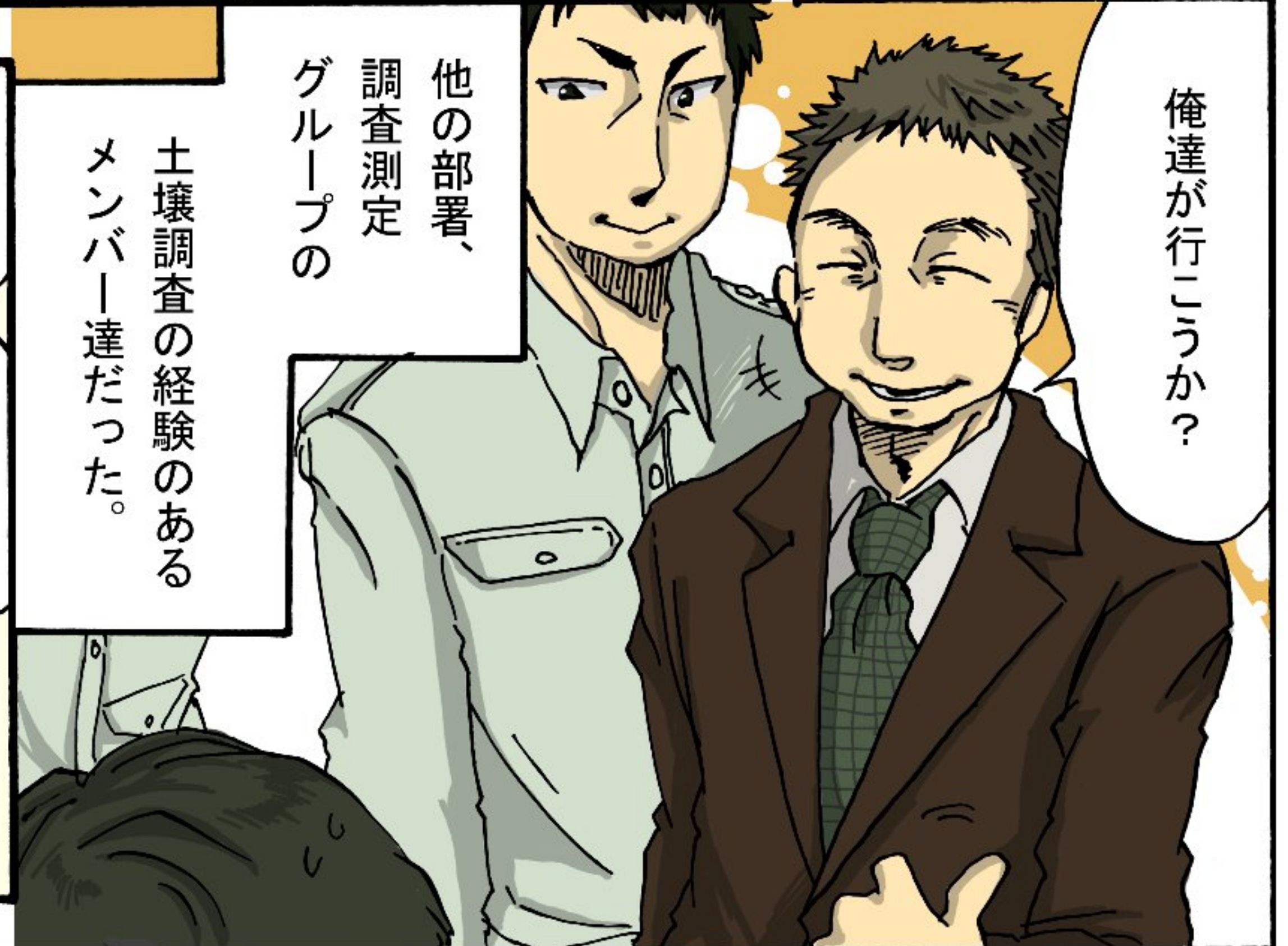
急遽正月にも  
作業をすることに  
なつた土壌環境  
グループ。  
しかし人員を  
確保しようにも  
正月はスケジュールが  
埋まっている人が  
ほとんどであった。



「年末年始も  
作業だ」と  
急に言われても  
厳しいですよ。



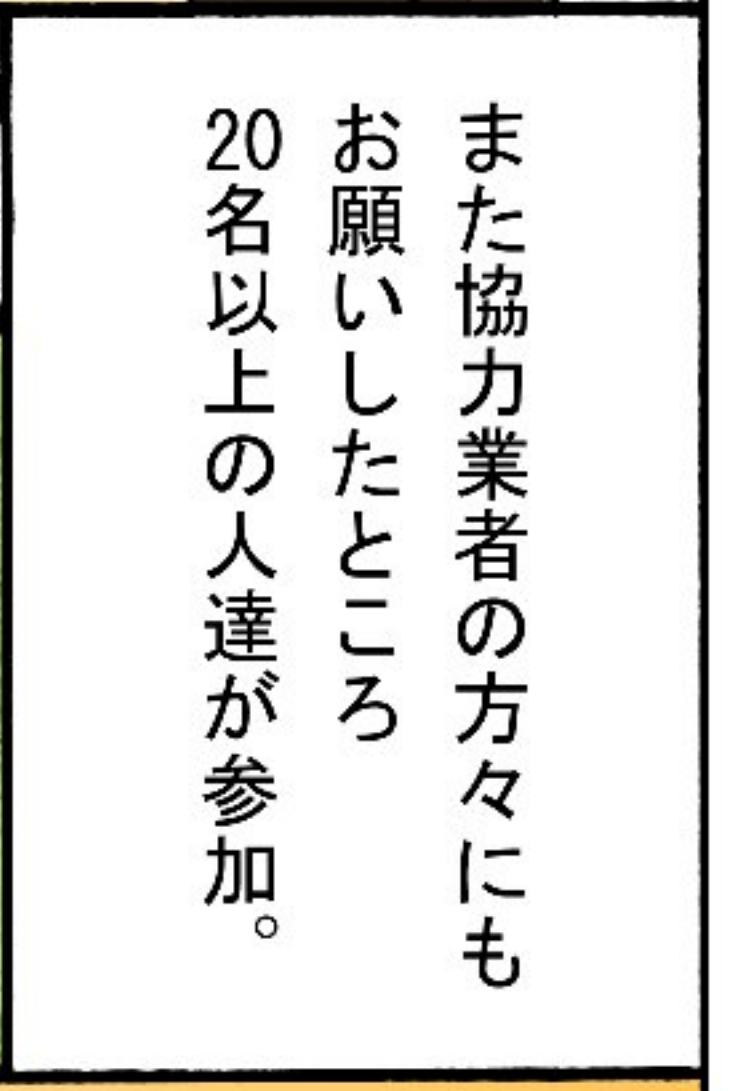
人手が  
思うように  
集まらない。  
土壌環境  
グループに  
大丈夫か？  
声を掛けて  
くれた人がいた。



俺達が行こうか？  
他の部署、  
調査測定  
グループの  
土壌調査の経験のある  
メンバー達だった。



いいの？  
緊急  
なんだろう？  
部署は違えど  
俺達だってできる  
ことならやらなきゃ  
なっ？  
困った時は  
お互い様  
ですよ。



皆様  
この度は  
ご協力いただきまして  
また協力業者の方々にも  
お願いしたところ  
20名以上の人が参加。



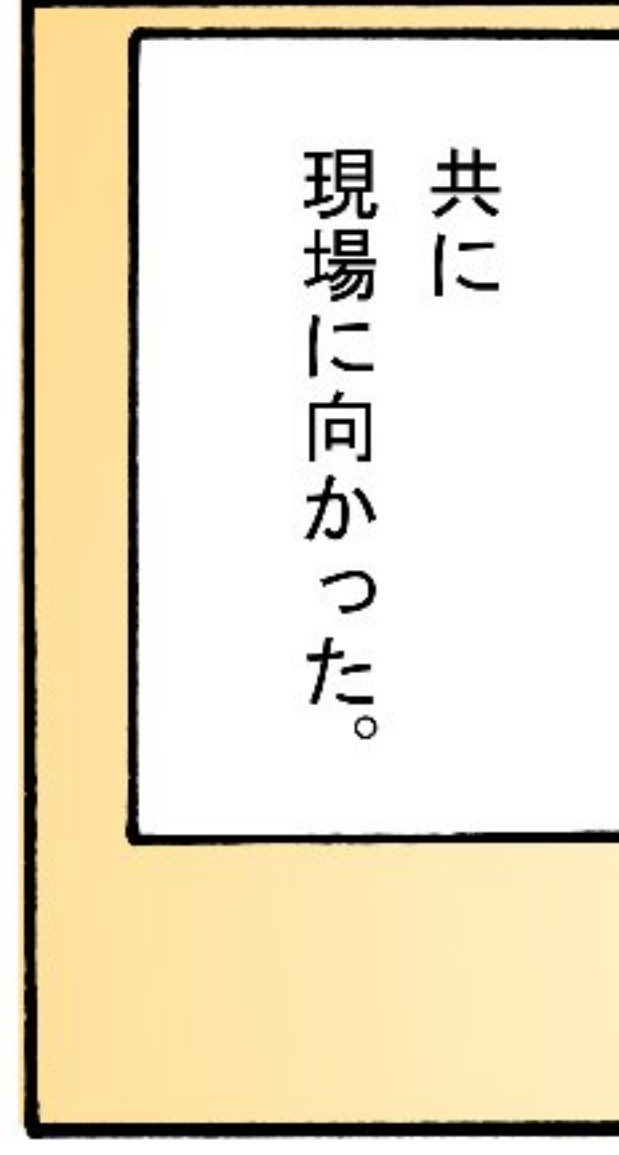
誠に  
感謝申し上げます。



この恩は  
他の部署の人達、  
業者の人達と  
協力し合い



かならず  
仕事で  
お返しいたします。



共に  
現場に向かった。



大変なのは  
現場の社員達  
だけではない。

社内に残った社員達も  
現場に行った社員の分まで  
仕事をこなさなければ  
ならなかった。



一方、  
分析グループでは…

「割増し料金払うから  
更に分析の納期を  
早くしてほしい」だと？



はい、先方には  
その期限がちゃんと  
納品をお約束できる  
日程であり、

納期は  
お金ではなく  
信頼の問題ですし…



更に短い納期では  
難しいと  
伝えましたが…

ふむ…

この納期では  
チェックが出来ない。

確実な結果をお客様に  
提供することにこだわり、  
信頼を得てきたのが  
オオスミだ…

ここの部分は  
どうしても  
譲れない…

が…

先方は納期を  
早めてほしいと  
言っている。



納期を  
ずらすことは  
できない。

しかし、  
分析結果が明らかに  
なったものから  
順次出していくなら  
問題ないだろう。



まあ  
たしかに約束は  
守っています。

いつも以上に  
大変になるが

全体スケジュールに  
少しでも貢献できるよう  
頑張ろう！



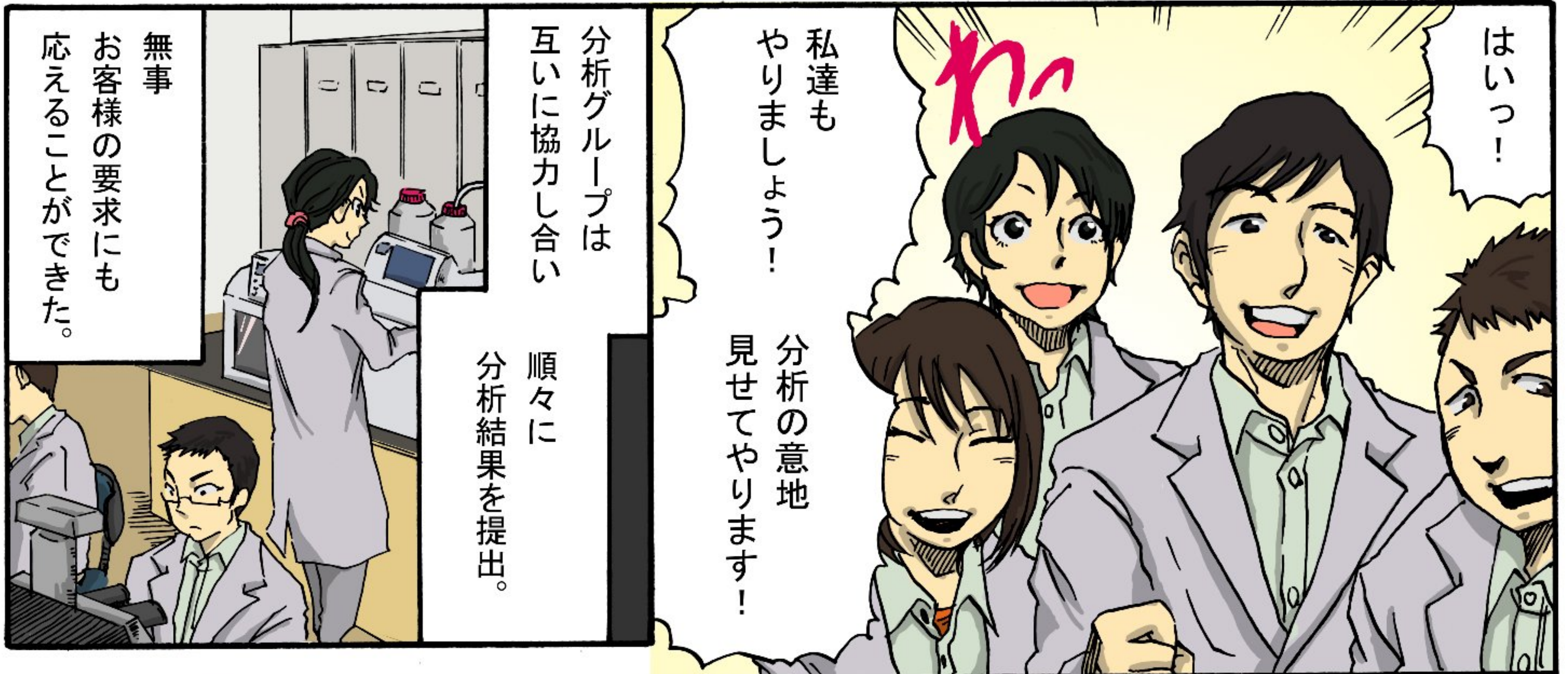
現場の奴らが  
あんだだけ頑張ってるんだ。

我々だって  
応えなきゃいけないだろ？

なあ  
みんな！







はいっ！

私達も  
やりましょう！

分析の意地  
見せてやります！

分析グループは  
互いに協力し合い

順々に  
分析結果を提出。

無事

お客様の要求にも  
応えることができた。



分析グループの頑張りは  
現場の耳にも届いていた。

分析グループで今回  
頑張って短期間で  
結果出してくれたん  
だつてよ！

おい  
聞いたか？

本当か！



分析グループも  
よく頑張ってくれたな！

いやー  
見直したな！



分析グループも  
やってくれたんだ！

俺達も  
やらなきゃな！

よっし  
やるぞ！

現場はさらに  
熱を増した。



また  
他の部署でも

グループ長！



あの、見積書  
作っておきました！

確認  
お願いします！

おっ  
ありがとう。でも見積はこちらの  
仕事では？



僕、営業なんで  
現場では  
力になれないですけど  
少しでもやれることは  
手伝いたいと思ってます。



現場に行った  
土壌環境  
グループだけでなく

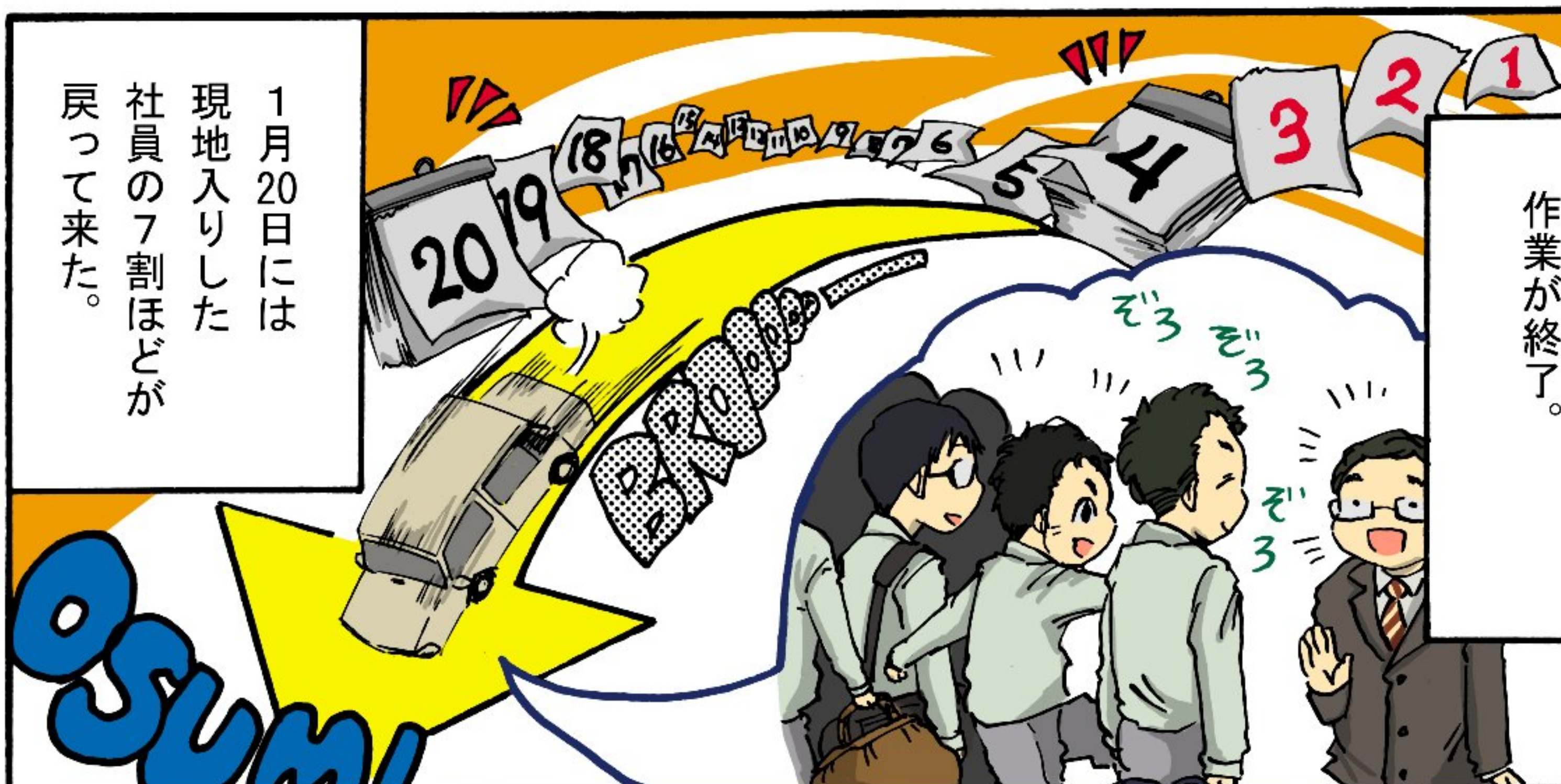
他の部署の社員たちも  
自分には何ができるかを  
考え行動するようになり

誰もがこの仕事を  
やりとげたいという  
気持ちでいっぱいだった。

そして1月4日  
本来の作業  
開始日には

お互いの協力により  
全体の7割の  
作業が終了。

1月20日には  
現地入りした  
社員の7割ほどが  
戻って来た。



そして2月中旬、すべての作業を無事終了。

現場から  
戻ってきた直後、  
話を聞いてみた。

あ、  
グループ長。

お帰り  
現場は  
どうだった？

やはり  
きつかっただろう？

まあ、たしかに  
きつかったです  
けど

でも  
楽しかったです！

みんなで行っている  
大きなプロジェクトに  
自分も関わって

とても  
達成感がありました！







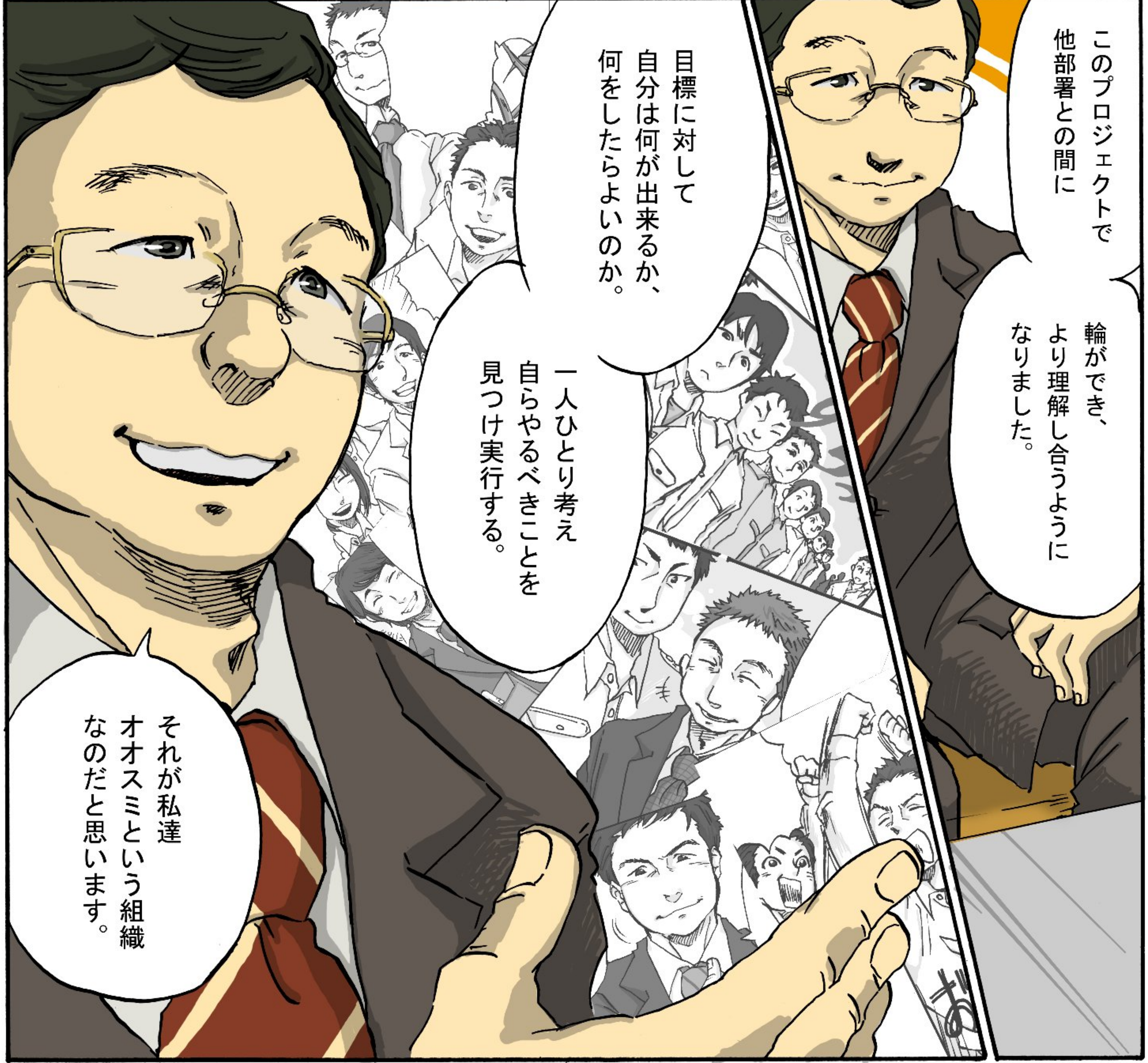
「楽しかった」  
その言葉を  
心から発せられたのは

一つの大きなプロジェクトに  
みんなが向かっていき

同じ想いで  
参加したから。

一人ひとりが目標に向かって  
自主的に発信していったから。

土壤環境グループ長はこう語る。



このプロジェクトで  
他部署との間に

輪ができ、  
より理解し合うようになり  
まりました。

目標に対して  
自分は何が出来るか、  
何をしたらよいのか。

一人ひとり考え  
自らやるべきことを  
見つけ実行する。

それが私達  
オオスミという組織  
なのだと思います。